

職員による自己評価

A環境面

- ・ 2 小さい子が多いとバタバタする事はある。
- ・ 3 求人応募はしている。職員会議で議題に入っている。
- ・ 3 どのような見直しが必要かまではわからない。
- ・ 4 構造化について、まだ改善ができるところがある。
- ・ 6 環境を整理整頓は改善が必要なところがまだある。

B業務改善

- ・ 7 全職員で参加できている。職員会議の議題に入っている。
- ・ 8 「外部評価」を知らない、あるのかわからない職員がいる。
- ・ 8 以前に説明をしているが、覚えていない、認識意識の差が職員間である。
- ・ 8 第三者評価は行っていない。
- ・ 9 アンケート結果から改善点を話し合っている。改善が行われている。
- ・ 11 必要に応じて業務改善は行われている。職員会議の議題に入っている。
- ・ 12 研修の機会は多い方だと思っている。

C適切な支援の提供

- ・ 17 常勤が主に行っており、チームとしては行えていない。
- ・ 17 立案に対して話し合うことはあった。
- ・ 17 立案に非常勤はタッチしていない。
- ・ 17 チームとは何を指すのか？
- ・ 17 活動プログラムの立案方法は改善できることがあると思う。
- ・ 18 活動プログラムは固定化されないように工夫されている。
- ・ 19 個別活動、集団活動は具体的にどのような事を指しているのか。個別も集団もやっている認識でいる。
- ・ 20 送迎などで「必ず」ではないが、デイリープログラムに詳細が記載されていたり、わからない時は立案者へ電話で確認をする手順となっている。シフトで勤務しているので、職員間で打ち合わせ、情報共有はしている。
- ・ 21 支援終了後の振り返りミーティングを行っている。
- ・ 23 『モニタリング』を知らない人がいる。耳にした事がある程度。

D関係機関や保護者との連携

- ・ 24 サービス担当者会議の有無が職員に認識されていない、伝わっていない、理解していない職員がいる。
- ・ 25 連携を図っているかわからない職員がいる。
- ・ 26 該当児なし
- ・ 27 該当児なし
- ・ 28 移行支援を知らない、理解できてない職員がいる。
- ・ 28 移行支援の内容、支援が職員から見えにくい。
- ・ 30 他機関と連携を図っている事を知らない職員がいる。

- ・ 31 事業所での行き来はなかったが、公園で交流はあった。
- ・ 31 公園での交流だけでは、そのような機会がなかったと捉える職員もいる。
- ・ 32 職員会議で伝えていたが、伝わっていなかった。伝える方法に問題があった。
- ・ 34 事業所が企画したプログラムはなかったが、他機関の講座、イベント情報をお知らせしたり、助言等を行っていると感じている。

E 保護者への説明

- ・ 43 地域とのつながりとして『はびねす』の展示を行っている。
- ・ 43 地域に開かれた事業運営としては、必要性、要望がないため、『はびねす』のみと認識している。
- ・ 43 地域に開かれた事業運営として、積極的な招待はしていない。
- ・ 43 『はびねす』は行っており、保護者の要望を含め、どのような形が良いかわからない。
- ・ 43 『はびねす』以外行われたかわからない。保護者の要望がない。
- ・ 41 個人情報へは注意はしているが、何件かイメージミスがあった。業務改善を行った。

F リスク管理

- ・ 48 ヒヤリハットなどの事例を事業所内で共有している。
- ・ 50 虐待を防止するための研修を確保するなど適切な対応をしている。
- ・ 51 研修、情報の共有はされていると思う。